

平成 27 年度第 3 回地域福祉専門分科会 会議録

1. 開催日時：平成 27 年 12 月 21 日（水）午後 3 時 40 分～4 時 30 分

2. 開催場所：市役所 5 階 第 5 委員会室

3. 出席者：

【委員】

会長 高田委員

副会長 松丸委員

委員 岸田委員、天野委員、塚越委員、戸村委員、村山委員、山田委員、
正木委員 (欠席者 0 名)

【市川市】

岡崎祥江（福祉政策課長）、吉見茂樹（地域支えあい課長）、野口栄一（介護福祉課長）、杉山秀子（福祉政策課主幹）、奥野真一郎（地域支えあい課）、森田真博（福祉政策課主任）ほか

4. 議事

(1) 第 3 期市川市地域福祉計画の平成 26 年度進捗状況について

(2) 市民後見制度について

《配布資料(事前配布)》

参考資料 第 3 期市川市地域福祉計画（平成 25 年度～29 年度）

《配布資料(当日配布)》

分科会資料 1 第 3 期市川市地域福祉計画の平成 26 年度進捗状況について

分科会資料 2 市民後見制度について

【午後 3 時 40 分開会】

1 配布資料の確認

事務局より、配布資料の過不足についての確認を行なった。

2 開会

区 分	内 容
高田会長	只今から、平成 27 年度第 3 回地域福祉専門分科会を開催いたします。
高田会長	本日の会議は、「市川市社会福祉審議会条例第 6 条」に準じ、半数以上の委員に出席をいただいておりますので、会議の開催は成立いたします。
高田会長	<p>なお、本会議につきましては、社会福祉審議会に準じ、原則公開となっております。本日の議題の中で非公開とする内容はありませので、公開としてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p>
高田会長	<p>それでは、公開することと決定いたします。</p> <p>本日は、傍聴希望者の方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(事務局が、傍聴希望者の有無を事務局席より回答)</p>
高田会長	本日は傍聴希望者はおりません。
高田会長	<p>それでは、議題に移ります。</p> <p>議題(1)の「第3期市川市地域福祉計画の平成26年度進捗状況について」を福祉政策課から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(第3期市川市地域福祉計画の平成26年度進捗状況について説明)</p>
高田会長	ただ今、議題(1)について説明がありましたが、何かご質問等がありますでしょうか。
高田会長	担当部署のほうである程度数量化が見えて、そのあたりの判断、材料の中で評価が下されている部分と活動そのものの中で下される部分と二つあるのと思いますが、何か皆さんからご意見は？
岸田委員	<p>確認だけよろしいですか。</p> <p>地域福祉推進の基盤作りが今回、5つの中でも推進うまくいかなかった部分と見受けます。</p>

	<p>内容を見てみますと、市川コミュニティ塾がうまくいかなかったとわかります。</p> <p>もう一つは、個人情報適正活用支援地域ケアシステム推進事業として、個人情報に差し障りがないように適切な管理をしていくという研修会がいずれもうまくいっていないようですが、何かこれからの課題や方向性、こういったものをあげていくといった手立てがあるのでしょうか。</p> <p>それとも、この事業についてはこの程度のものなのか、教えて頂ければと思います。よろしくお願い致します。</p>
高田会長	<p>担当の方、回答をお願いします。</p>
地域支えあい課奥野副主幹	<p>地域支えあい課、奥野でございます。</p> <p>宜しく願いいたします。</p> <p>今ご指摘頂きました、コミュニティ塾の部分ですが、こちらについてご報告申し上げます。</p> <p>こちら計画策定時、モデル事業の立ち上げを目指すということで重点事業として掲載させて頂きましたが、昨年度におきましては、介護保険制度の改正等を見据えて、まずは改正の全容がどのようなものなのかといった把握に努めてまいりました。</p> <p>また、介護保険制度の改正が見えてくる中で、地域作りに力を入れていくべしと方向性が示されておりますので、今年度におきましては、土曜日の広報にも載せましたが、「地域活動入門講座」という講座を開催する予定でございます。</p> <p>こちらは、新たな地域福祉の担い手を確保するという目的を踏まえて、企画を一つ立ち上げたところです。</p> <p>コミュニティ塾につきましては、それに代わる物として、今回の講座を予定しています。</p> <p>個人情報の件ですが、先ほどの審議会でもご指摘いただいたところではありますが、こちらは地域ケアシステム推進事業及び民生委員の活動の中で、日々の活動を通じた定期的な会議等を設けています。</p> <p>その中で、通常の活動を通して、個人情報の取り扱い、といった部分の共有を図りながら、適正な取り扱いについてはどうしたらいいのかという部分を都度、ご意見を頂きながら進めているところです。先ほどもご報告申し上げましたが、研修会という形ではなく、活動の中の意見交換のような情報共有を図っているところです。</p>
岸田委員	<p>わかりました。</p> <p>ありがとうございます。</p>

塚越委員	<p>活動の周知方法として、ホームページの閲覧回数が非常に増えたと言いました。</p> <p>27年度以降、しおりの発行部数を3,000と設定されていますが、実質はそれより少なくなっています。</p> <p>こちらに代わる周知方法を考えて頂ければと思っております。</p>
高田会長	<p>その補足で何かございますか。</p>
吉見地域支えあい課長	<p>今のご質問ですが、例えば26年度、計画では3,000部でしたが実際の印刷冊数は1,800部であるということで、こちらに大きな差があるので、埋め合わせの事業をどういったことをしているのかということですね。</p> <p>あと、先ほど審議会でもございましたが、在庫の活用方法や、さらに広報等の掲載という周知の方法も考えておりますので、そういった対応をしています。</p> <p>以上です。</p>
塚越委員	<p>広報やマイタウンに効果が出ているのであれば、そちらの方に移行していったほうがよろしいのかなと感じました。</p>
吉見地域支えあい課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>これからも広報等の媒体の方に力を入れていかなくてはいけない、そういったことも検討の材料として対応させて頂きたいと思っております。</p>
奥野地域支えあい課副主幹	<p>担当者から補足させていただきます。</p> <p>しおりにつきましては、今年度は介護福祉課で発行しているものですが、主に、保健福祉のサービスに関する個別のサービスを紹介する冊子となっています。</p> <p>こちらにつきましては、毎年、民生委員の会議や地域ケア推進連絡会、相談員会議といったところでも情報の周知を図っています。</p> <p>また、ご指摘いただいたようにホームページやマイタウン市川などを通じて、各種事業の周知を図っているところです。</p> <p>また今後とも日々の活動を通じて必要なサービスを必要なところまで届けられるような形で周知を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p>

高田会長	そのホームページですが、これは市川市のホームページですか。それとも自治会のホームページですか。
地域支えあい 課奥野副主幹	市川市のホームページで地域ケアシステムを紹介するページとなります。
高田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>前回の推進会議でも他の4つの地区で、活動事例を是非交換しあいたいという意見が出てきましたので、そのあたりもホームページに掲載していくと、なお関心度が高まっていくのではと感じました。</p> <p>他にどなたかご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
天野委員	<p>32ページの事業名91、地域活動情報管理についてですが、25年度、26年度とC評価で、この内容が全く同じということが非常に気になります。</p> <p>パソコンの予算が確保できなかった、情報共用の為のツールの確保、予算確保ということが2年続いています。</p> <p>おそらくこちらは地域に貸与しているパソコンだと見受けませんが、これについて、どのように地域との話し合いをしていくのか、パソコンがない地域に対して、それに代わる手段としてどう話し合っているのか、どう進めているのかというところをお聞かせ頂ければと思います。</p>
地域支えあい 課奥野副主幹	<p>奥野でございます。</p> <p>ご指摘の件ですが、パソコンのサポート切れに伴うものでして、この2年続けてのC評価は、財政上の事情もありまして予算確保に至りませんでした。27年度につきましては、財源を確保した上で、各地区にパソコンを入れることが出来たところではあります。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他ご質問、お願い致します。</p>
塚越委員	パソコンを入れた活用実績と活用効果は出ているのでしょうか。
地域支えあい 課奥野副主幹	<p>活用の効果というところでご指摘頂きましたので、一部地区におきましての事例として報告させていただきます。</p> <p>ある地区につきましては、その地区の地域ケアシステムの活動状況で、会議の予定から日々のイベントの情報の告知等のホームページを立ち上げる地区もあります。</p>

高田会長	<p>また他の地区におかれましては、広報の作成等にパソコンを活用し、また、社会福祉協議会のご尽力の賜物で印刷機の導入も叶っていますので、そういったものを通じて、活動状況の告知、周知にご活用いただいているということです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>その他、ご意見ご質問等ありますか。</p> <p>私はPCが苦手ですが、PCがあっても使えない人がいることについてはどうなのかと思いました。</p> <p>何か指導など、技術を補足していただけるのですか。</p>
地域支えあい課奥野副主幹	<p>パソコンが苦手な方も中にはいらっしゃいますので、塚越委員がいらっしゃる宮久保・下貝塚地区におかれましては、パソコンの研修、相談員を対象にした研修を実施しておりまして、まずはパソコンに慣れていただく、という研修をしたところです。</p>
村山委員	<p>PCの話だと技術や活用の度合いに地域格差があるようです。</p> <p>活用されているところとなかなか厳しいところがあると個人的に思います。</p> <p>進捗の中の5の地域福祉推進の基盤づくりの評価がBやCで、毎年厳しい、上手く進まないといった印象です。</p> <p>これについて、どうしたらいいのかを一番考える部署はどこになりますか。</p> <p>地域支えあい課と一緒にやっている社協さんと、ここをどう良くしていくかということを考えているのか、そこを伺いたいのですが。</p>
吉見地域支えあい課長	<p>地域支えあい課、社会福祉協議会で連携をとりながら行っているのですが、技術レベルの差といったことが原因で中々進まないところもあります。</p> <p>先ほども話がありましたが、こういったことも出来る、ああいったこともできるということを周知したり、研修を行うということを考えながらやっていきたいと思っております。</p> <p>確かに、地域福祉推進の基盤作りが低い評価になっていますので、これを少しでも上げられるように、今言ったような事も含めながら対応して行きたいと、ご意見を活かしていきたいと考えております。</p>
村山委員	<p>地域ケアシステムにかかわっている当事者としてもっと工夫しなければという反省が非常にあります。</p>

<p>高田会長</p>	<p>地域ケアシステムを支えている民生委員、自治会関係者に当事者が限られていて新しい風が入らないというのはよくないのではないのでしょうか。</p> <p>14地区内でうまくいっているところがありましたらその情報を流していただきたいです。</p> <p>また、総合事業のなかでも民生委員や自治会に頼る部分もとてもあると思うので、どうしたら新しい風、人材を取り込めるかということを社協、支えあい課、現場のケアに関わっている方々ときっちりお話をすることが必要ではないかと思います。</p> <p>宜しく申し上げます。</p> <p>社会福祉協議会のお話がでて、新しい風を吹き込んでいくのは、まさしく松丸さんのところかと思うのですが。</p>
<p>松丸副会長</p>	<p>地域を変えるのに中々一長一短では変えられないところがあります。</p> <p>先ほどの審議会でも出ていましたが、国が地域づくりで、介護予防をしいったり、障害者の政策をしたり、子供の政策をしたりしようとしています。</p> <p>地域のなかで自分たちができることを自分たちでするということをやっています。</p> <p>これについて、介護保険が出来て、介護予防という概念ができたときに、国は介護予防するのに、特定高齢者という人を集めてこの人達を把握してこの人達にはこんな運動をさせましょう！栄養の勉強をしましょう！というように実施していたのですが、ことごとく失敗だったということ国が認めています。</p> <p>国が言っているとおりにはやらなければ予算が組めないのですが、それに反して、それではうまくいかないと、自分達の地域でやろう！と、高知などは自分たちで健康作りをして、住民が自分たちでやっていく！ということ行政が考えて仕組み作りをしていったということです。</p> <p>今回厚労省が、国が行っていた制度には反したが、そうしていくことで地域が出来ていって、見守りが出来ていった地域があるので、それを全国に広げようと、この例をモデル事業でやっているところです。</p> <p>確かに先ほど出ました公民館の問題や、行政の中で場所を提供してもらえないと出来ないなど、行政からお金が出ないと出来ないという今までのやり方では、どうしても間に合いません。</p> <p>高齢者がどんどん増えていく中で、高齢者が増えて人口の40%を占めるという市もあります。</p> <p>そうすると行政の指示を待っていたのではとても追いつかないということで、住民が自分たちで何とかしたい！と考えて動きました。</p>

	<p>住民が自主的に動くことによって、場所も自分たちで考えて、お寺を借りたり、倉庫を作ったり、晴れているときにだけやろう！ということが出来たということです。</p> <p>地域の人達が、住民たちが、自分たちで考えて、自分たちでやっていくと。</p> <p>行政からこんな風にしたらいいのではないかと言うのではなく、住民の中でアイデアがどんどん出てきて、どんどん広まって、地域の中で支える人・支えられる人ではなく、みんなで支えあっていくという構図が出来ていったという地域があります。</p> <p>それを社協は目指していますが、そうはいつでもなかなか難しいのが現状です。</p> <p>今、地域ケアシステムの中で、皆さん一生懸命考えてくれています。</p> <p>社協は社協として今、個別に面接をして、地域の課題が何かということを社協も掘り出しを始めました。それを4地区にまとめて、コミュニティーワーカーがいますので、地域の中でどういうふうにテコ入れをしていったらいいかと考えてはいます。</p> <p>しかし、地域にも差があり、職員にも差があります。</p> <p>地域と行政を、関わっている人たちをなんとか同じ方向で進めていきましょう！と進めていっている状況です。</p>
高田会長	<p>国がいう住民主体ではなく、地域から出る住民主体、そこが非常に大切だなということを感じました。</p> <p>時間がせまっていますので、ご意見がある方は福祉政策課のメールへ返していただければありがたいと思いますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。</p>
高田会長	<p>続いて、議題（2）の「市民後見制度について」を障害者支援課から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">（”市民後見制度について”説明）</p>
高田会長	<p>ただ今、議題（2）について説明がありました。</p> <p>大変分かりやすい構成で、ありがとうございました。</p> <p>本議題については、今回で最後の審議となりますので、</p> <p>先ずは、分科会資料2の左上の「主な意見と市の対応」に基づき、項目順に、再度意見又は質問をお願いしたいと思います。</p>
高田会長	<p>先ず、「市民後見人育成の必要性について」、「市民後見人の定義につい</p>

<p>高田会長</p>	<p>て」の2点について何かご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>大体皆さん、必要性、定義、お手元の通りでご理解いただけたということでしょうか。</p> <p>前回も必要性についてはお話しいただきましたが、なお今回詳しいご説明いただいたて、これからの動きについて見えてきた部分が沢山あるなどいうところですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>高田会長</p>	<p>続いて、「育成の活用」と「報酬について」、こちらも他市との比較も含めて、ご意見とご質問はございませんか。</p>
<p>村山委員</p>	<p>基本的に市民後見人養成と一本立ちしたところを、成年後見センター（仮称）が、市民後見人を支えて、一緒に活動していくというイメージですが、これは現在、委託している先の一箇所で行うというイメージでしょうか。</p> <p>つまりは、後見人養成講座を受けまして、受けた後、他の法人に登録して、そこで市民後見人の活動をしていいのかという意味でお聞きしています。</p> <p>そして、市民後見人が養成講座を受けて経験を積みますが、法人後見業務への従事、福祉サービス利用援助事業の活動など、福祉サービス利用援助事業の生活支援としてだけですと、きちんとした市民後見人としての独立した活動は、少し厳しいような気がします。</p> <p>やはり、後見というものと利用援助事業というのは責任の重さが違うと思いますので、法人後見の業務の実績や経験が必要な場合、現状では市川ではやっていないです。</p> <p>ではどこで経験を積めばいいのかという話になります。</p> <p>例えば、実績のある PAC ガーディアンズやしぐなるあいに委ねて、そこで経験してもらうなど、外部での実務経験を想定されているのかということをお聞きしたいです。</p>
<p>秋本障害者支援課長</p>	<p>2点のことについてお答えします。</p> <p>まず1点目、委託先につきましては他市の状況からご推察いただけたと思いますが、成年後見の相談事業を委託しています市川市社会福祉協議会を想定しているところです。</p> <p>2点目、実務経験をつませる受け手がないとの村山委員のご指摘のとおり、できれば委託をした市川社協に法人後見をしていただいて、市民後見人候補者の活用をしていただきたいと思います。</p> <p>または市川社協が実施している金銭管理のサービスも担当していただ</p>

<p>松丸副会長</p>	<p>きたいと思います。</p> <p>その他、法人後見を受任している、船橋市とガーディアンズや松戸市のしくなるあいずとも協議が必要と考えているところです。</p> <p>社会福祉協議会ですけれども、ほかでもやっているところがありますが、地域の人達と一緒に住みやすい地域をつくるということが社協の使命ですので、安心して住みやすい地域をつくる為のサービスとして、どうしてもこの市民後見制度、成年後見制度は必要なことと社協では考えています。</p> <p>社協では成年後見制度の相談事業等を請け負っていますが、来年度から市民後見制度ができるならばやっていく、それとは別に、社会福祉協議会として法人後見ができるならやっていこうということを検討しています。</p> <p>法人後見をしていく中で、福祉サービス利用援助事業等で実施をさせていただいて、社協がやる法人後見と一緒にやっていただいで、そこで学んでいただいで、将来的に独立して市民後見人になっていただくとすることを今社協は考えて進めているところです。</p> <p>まだまだ市民後見人として活躍していただくには、何年もかかることなので、ただそれを見据えて準備はしていけないと思っております、2025年までにはきちっとした制度になっていないと思っております、来年から法人後見を受ける準備を今進めているところです。</p>
<p>高田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市川市から委託を受けた社会福祉協議会がいずれ法人後見人として受ける環境として、着々と整備されて、どこかのタイミングでGOサインが出るということになるのだらうと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問等ございませんか。</p> <p>少し解かりづらいということがもしかしたらあるかもしれないのですが。</p> <p>時間もおしていますので、最後になりますが、「市民後見人の育成・支援の仕組み」と「市民後見人の活動の類型について」と、資料3の「他自治体における市民後見人育成・活用状況」について、このあたりから皆さんからご意見、ご質問があったらお願いいたします。</p> <p>特にご意見等はないようですので、私から質問させて下さい。</p> <p>他市との比較においては、市川市はどこの市町村がモデルになるのでしょうか。</p>
<p>秋本障害者支援課長</p>	<p>市民後見人の育成のしくみにつきましては、これからこの分科会の意見をいただいで、社会福祉審議会でもご意見をいただいで、本格的に検討し</p>

高田会長	<p>ていくこととなります。</p> <p>モデルとするのは先進的な市である横浜市や世田谷区を考えています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>また、他にご質問等ございましたら障害支援課さんの方にいただければ、障害支援課で回答していただくということでお願いいたします。</p>
高田会長	<p>本日の議題は全て終了しました。</p> <p>ご意見が無いようでしたら、平成27年度第3回地域福祉専門分科会を終了いたします。</p> <p>皆さん大変お世話様でした。</p>

【午後4時30分閉会】

平成27年12月21日
市川市社会福祉審議会
地域福祉専門分科会
会長 高田 俊彦